

次の世代に引継ぎたい大切な宝物「北海道遺産」フォトコンテスト。四季折々の表情、また感性豊かな作品を老若男女問わず数多くお寄せいただきました。ご応募いただきました方々へ、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。入賞・入選されました素晴らしい作品を、ぜひご覧ください。

講評～フォトグラファー岸本 日出雄氏

四季折々の変化に富んだ豊かな自然、面々と続いてきた人の営みの歴史を伝える建造物などなど、北海道には被写体がいっぱい。機材の進化に伴い、もののできるシャッターチャンスも、ぐんと広がっています。が、その魅力をどう引き出すかは、やはり撮影者の手腕(感性)次第。そこが写真に挑む面白さでもあります。特に場所を移動できないものを撮影する時には、アングルや時間帯の選択のほか撮影者の力量が反映することが少なくありません。今回の応募作品は力作が多く、努力の跡が伺われる完成度の高いものを見ることができ嬉しく感じました。

この2年間はコロナ禍の影響で自粛を余儀なくされ、撮影機会も減らさざるを得なかったことでしょう。そんな状況にめげず挑戦してくれた方々には感謝しています。鑑賞も感性磨きの大切な手段の一つです。入選作の数々大いにお楽しみいただければ幸いです。



北海道遺産フォトコンテスト  
イメージキャラクター  
「ハリス」



# あなたが伝えたい北海道遺産を、感じたままに撮ってみよう！

## 北海道遺産フォトコンテスト2021

### 入賞・入選作品発表

作品テーマ「あなたが伝えたい北海道遺産」



■主催：NPO法人 北海道遺産協議会 ■協賛：サッポロビール株式会社 ■後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社



石狩川霧氷 [撮影/旭川市 2020年1月]

石狩川

●永井 和子 様(旭川市)

【撮影者コメント】

氷点下の朝、日の出と共に色づく霧氷と毛嵐が石狩川の醍醐味です。

【岸本 日出雄氏 講評】

気温のぐんと下がった朝、寒さを押し足運んだ甲斐がありましたね。霧氷だけでも素晴らしいのに川面から立ち上がる毛嵐まで出現。ドラマチックなシーンが出来上がりました。手前の樹氷に覆われた木々、凍った川に加えて遠い向こう岸の黄金色に輝く樹木が画面を引き締め奥行きのある構成となっています。川面の表情も変化に富んでいて、とても魅力的です。全体に凛とした空気が流れ、冴え冴えとした景色を見る者を惹きつけます。



クリスマスの夜 [撮影/サッポロビール博物館 2018年12月]

札幌苗穂地区の工場・記念館群

●千田 一也 様(札幌市)

【撮影者コメント】

明治時代を感じさせるノスタルジックな雰囲気を漂わせる建物です。札幌の観光スポットです。

【岸本 日出雄氏 講評】

クリスマスが近づくと決まって飾られる大きなクリスマスツリー。子どもばかりか大人も何故かワクワクするのは、モミの木の緑とレンガ造りの歴史ある建物とがマッチしたメルヘンチックな情景が作り出されています。そしてノボの煙突もとてもしっくりきます。画面全体が温かみのあるオレンジ系の色にまとめられていて素敵です。惜しむらくは、舞い落ちてきている雪の量。もうちょっと降ってきてくれたなら、もっと幻想的に写ったでしょう。



摩周一刻 [撮影/摩周湖第3展望台 2020年10月]

摩周湖

●畑端 憲行 様(新ひだか町)

【撮影者コメント】摩周湖の夜が明けて瞬時に変わる神秘さに感動した。

【岸本 日出雄氏 講評】

摩周湖は北海道の風景写真の被写体として筆頭にあげられる場所の一つです。こちらは、霧の摩周湖にピッタリの光景が広がっています。ただ、一面白だけでなく、ダークな部分もあり、変化に富んでいていいですね。茜色の空にくっきり浮かぶ山のシルエットが見え、よりダイナミックな情景になりました。小島が見えたのも摩周らしさが強調され幸運でした。太陽が昇る前から作者はこのアングルを決め、静かな興奮を覚えながら刻々と変化する様子を眺めベストショットを狙っていたのでしょう。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 北海道遺産とSDGsのつながり

SDGsとは、国連が定める2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標です。北海道遺産として、豊かな自然・文化・歴史を伝え、保全していく事は、3つのSDGsの目標につながっていくと考えます。

- 8.働きがいも経済成長も
- 11.住み続けられるまちづくりを
- 12.つくる責任、つかう責任

サポーター募集中!! 北海道遺産協議会では、北海道 遺産の取り組みを応援して下さるサポーターを募集しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

特典			スペシャル特典	▶詳しくはお問合せください。 NPO法人北海道遺産協議会事務局 〒060-0041 札幌市中央区大通東 2丁目3-1 第36桂和ビル7階 TEL: 011-218-2858 FAX: 011-232-4918 Email: info@hokkaidoisan.org <a href="http://www.hokkaidoisan.org/supporter.html">http://www.hokkaidoisan.org/supporter.html</a>
会員証	情報紙 (年3回程度)	年度特典 (2021年度は) トートバッグ	★初年度に限り 「ほっかいどう遺産WAON」と、 「ピンバッジ」 プレゼント 	
メールニュース等の 情報発信	HPなどへの法人・団体名、 個人名(希望者)の掲載			



剛力 [撮影/帯広市 2016年7月]  
**北海道の馬文化** (ばん馬、日高のサラブレッド、北海道和種馬など)  
 ●加藤 良明 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 人馬が全力で走る競馬競争。砂ぼこりの中に展開する目の離せない一瞬。



積丹Blue Gray [撮影/積丹町 神威岬 2021年7月]  
**積丹半島と神威岬**  
 ●加藤 明彦 様(初山別村)  
 【撮影者コメント】  
 初めて訪ねた神威岬は曇り空。ブルーには出会えませんでした。それでも灯台までの道のりが遠かった。



厳凍 旭橋 [撮影/旭川市 石狩川河畔 2020年1月]  
**旭 橋**  
 ●若井 正一 様(旭川市)  
 【撮影者コメント】  
 マイナス20℃を超えた朝、けあらしの中、旭橋の雄姿。この年、旭橋は米寿を向かえた。



真っ赤な山々とタウシュベツ橋梁 [撮影/上士幌町 糠平湖 2018年1月]  
**旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群**  
 ●浅井 和恵 様(苫小牧市)  
 【撮影者コメント】  
 マイナス27度の深夜から撮影し、朝陽が昇るまでの7時間、タウシュベツ橋梁と真っ赤な山々を写してみたくて、寒さに耐えてこの景色を撮影することができました。



立坑と月見坂 [撮影/三笠市 奔別町 2019年12月]  
**空知の炭鉱関連施設と生活文化**  
 ●山内 佳子 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 かつて多くの人達が行き交っていた月見坂と奔別の立坑です。この場所の現在を表現したく、寒さ厳しい冬に雪が舞う中撮ってみたいと思いながら撮影に出かけて撮った写真です。



糸たちが奏でる [撮影/江別市 2020年3月]  
**アイヌ口承文芸**  
 ●江崎 絹枝 様(江別市)  
 【撮影者コメント】  
 アイヌ刺繍は、文様に意味があり願いが籠る力強い美しさ。



初冬の岬 [撮影/積丹町 神威岬 2019年11月]  
**積丹半島と神威岬**  
 ●落合 英男 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 厳冬を迎える積丹半島。強風で波も荒くなるが、時折見せる日差しにほっとする。



星と共に76年 [撮影/江別市 酪農学園大学旧稲農寮 2021年9月]  
**江別のれんが**  
 ●金澤 邦臣 様(江別市)  
 【撮影者コメント】  
 1945(昭和20)年に建設され、夜空に輝く無数の星と共に歴史を歩んできた。今後も末長い保存を願って…。



秋のピアソン記念館 [撮影/北見市 2019年10月]  
**ピアソン記念館**  
 ●長友 逸郎 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 北見を訪れるたびに必ず写真に収めます。素晴らしい建築だと思います。



在りし日を想う [撮影/美瑛市 炭鉱メモリアル森林公園 2021年5月]  
**空知の炭鉱関連施設と生活文化**  
 ●佐々木 郁太郎 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 真っ赤な炭鉱遺産の立坑巻き上げ機と、桜色に咲き誇るエゾヤマザクラ。炭鉱が繁栄していた時代の騒がしい世界を想像しながら現在の音のない静かな公園内を散策しました。

**北海道遺産**  
**フォトコンテスト2021**

入賞・入選作品のパネル展示をいたします。  
 お誘いあわせのうえ是非お越しください。

**展示会場**  
 チ・カ・ホ(札幌駅前通地下歩行空間)  
 北3条交差点広場

**展示期間**  
**2021年11月6日(土)**  
 [10:30~18:00]



後光 [撮影/余市町 2019年5月]  
**積丹半島と神威岬**  
 ●山田 訓之 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 真後ろから昇ってくる太陽を狙いました。



花曇り [撮影/札幌市 中島公園 2021年4月]  
**開拓使時代の洋風建築** (時計台、豊平館、清華亭など)  
 ●日野 透 様(札幌市)  
 【撮影者コメント】  
 花曇りの豊平館と桜をコロナ禍の中、自宅時間が長くなりましたが、オープンエアであれば少しは許されると思い、マスク着用で出かけました。亡き両親の結婚式場であったと聞かされておりました。リノベーション後の洋館は些か趣が変わりましたが、それも美しい。桜ともベストマッチだと思います。



宗谷丘陵を飛ぶ [撮影/稚内市 2018年5月]  
**宗谷丘陵の周水河地形**  
 ●釜本 敦史 様(大阪府)  
 【撮影者コメント】  
 夕陽を浴びる宗谷丘陵の風車群をバックに新千歳空港からの飛行機がやってきた。



クライマックス [撮影/松前町 姥神大神宮 2019年8月]  
**姥神大神宮渡御祭と江差追分**  
 ●山口 健一 様(函館市)  
 【撮影者コメント】  
 渡御祭もクライマックス、タイマツで清められた参道を若者が担ぐ神輿が一気に駆け上がる。